

市民ネットワークちば 政策集 2015

市民がつくる千葉市のくらし



政治を変えるのは
net
ネットです

STOP!
格差社会

市民ネットワークちば

住んでよかった！ と思える千葉市をいっしょにつくろう

市民ネットワークちはは、地域政党です。

1990年、「自治する市民になろう」「いっしょにつくろう、私たちの街を！」をキーワードに活動を始めました。以来24年間、市民目線でつくる、住み続けたい千葉市を実現するための政策を掲げ、市議・県議を送り出してきました。

今、国は、特定秘密保護法の強行採決、解釈改憲による集団的自衛権行使容認の閣議決定など、国民との対話や満足な説明もないままに政策を進めています。一方、急ぐべき東日本大震災や福島第一原発事故で被災した方々への救済は遅々として進んでいません。

地域に住む自分たちの声が活かされない、そんな政治はおかしいと感じ、自ら行動する市民が増えることで、政治は、社会は変わると私たちは考えています。

この政策集を読んでくださったあなたの共感が得られますように。

そして自らまちづくりに関わるきっかけになれますように。

いっしょにつくりましょう。私たちの千葉市を！

1. 働く：多様な働き方が認められる社会
2. まちづくり：人と地域資源を活かす暮らしやすいまち
3. 福祉：このまちで安心して暮らし続ける
4. 子育て子育て：豊かな子育て子育てを応援
5. 環境：未来につなぐ循環型のまち
6. 市民力：市民力を活かしてつくる私たちのまち

3つのルール

1. 議員はローテーション

市民ネットワークの議員は原則2期・最長3期で交代。職業化、特権化しません。議員終了後は、市民活動などに経験を活かします。

2. 議員報酬は市民の活動費

議員報酬は市民の調査活動資金に。お金の流れはすべて公開します。

3. 選挙はすべて手づくりで

市民のための政治は、市民参加の選挙から。選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

大事なことは
市民が決める！



1. 働く



働く環境はますます悪化し、非正規雇用率や年収 200 万円以下の就労者の割合も増えています。女性も男性も、障がい者も、病を抱える人も働き続けられる対策をすすめます。

◆ 女性も男性も仕事と家庭が両立できる社会の実現

- ・子育てや介護をしながら働き続けられる支援の充実
- ・男性の長時間労働を見直し、育児・介護・地域活動などに参加できる体制づくり
- ・女性の起業を応援

◆ 女性が社会の仕組み作りに参画できる社会

- ・女性が様々な分野で意思決定にかかわれるよう、管理職などの女性比率向上を

◆ 働く人の権利を守る社会へ

- ・派遣・契約・非常勤・パート・嘱託・正社員など、働き方にかかわらず、同じ労働には同じ賃金を
- ・働く人たちが、自分の権利を守るための知識の習得の場の確保と、気軽に相談できる窓口の充実

◆ 中間的就労^(注)を広める

- ・受け皿になる事業者を増やし、当事者とつなぐコーディネート機能の充実

(注) 中間的就労：ニートや長期の失業者などに、短時間の軽作業などの働ける場を提供し、日常生活の自立や社会参加を支援する取り組み

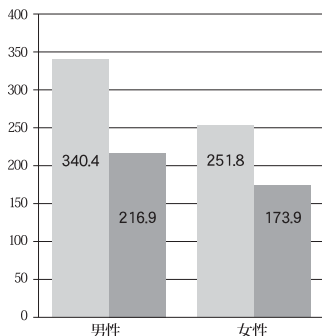
◆ 障がい者雇用の促進

- ・就労継続のための支援の拡大



多様な働き方が認められる社会

雇用形態・性別平均賃金 (2013 年、千円)



出典：厚生労働省 平成 25 年賃金構造基本統計調査 (全国) 結果の概況より

2. まちづくり



近い将来大地震の可能性が高まり、防災対策が急がれます。少子超高齢社会を生き抜くには、これまでのつながり方にこだわらず、多様なまちづくりの担い手を育て、資源を活用していく必要があります。

◆ 地縁団体に加え、多様な市民によるまちづくり

- ・高齢者や子どもなどを地域で継続して見守る仕組みづくり
- ・意欲のある市民や団体を、地域の課題解決に活かす

◆ 幅広い視点で作り上げる防災対策

- ・自主防災組織や避難所運営委員会に女性・障がい者・子どもの参画を確保
- ・災害に対しての、地域課題の洗い出しと解決策を市民参加で考える
- ・ペットの同行避難を可能にするマニュアル作りの推進

◆ 脱・自家用車で移動の確保

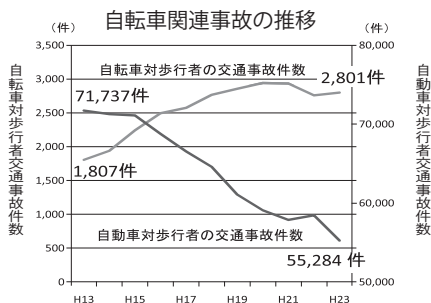
- ・自転車事故を防止する啓発事業の強化と安全な自転車走行環境の整備
- ・コミュニティバスやオンデマンド交通^(注)活用で交通弱者支援
- ・バス乗り継ぎ割引や停留所へのベンチ増設

(注) オンデマンド交通：個人の希望に合わせて予約し利用する新しい乗り合い型交通サービス

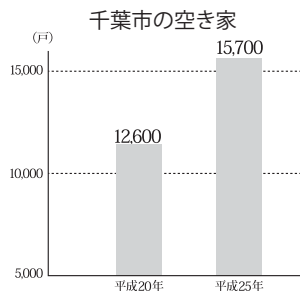


◆ 空き家の活用

- ・空き家を荒廃させないための住宅相談窓口の充実
- ・空き家バンクを作り、持ち主と借り手のマッチング
- ・活動や交流・居場所として市民団体やNPOへの空き家の提供



自転車対歩行者の交通事故件数並びに自動車対歩行者の交通事故件数の推移 (平成13～23年)
出典：警察庁 自転車の交通ルールの徹底方策に関する懇談会資料より



※ここでいう空き家とは、賃貸用、売却用、別荘などを除く用途の決まっていない「その他の空き家」をさす
出典：総務省 住宅・土地統計調査

3. 福祉



10 年後には団塊の世代が後期高齢者になります。国が進める、住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の実現には千葉市の本気の取り組みが求められています。

◆ 医療・介護・福祉

- ・地域包括ケアの拠点である、あんしんケアセンターの機能を強めるため各区 1 か所の直営センターの設置
- ・在宅医療を支える訪問診療、終末緩和ケアのできる病院・診療所の拡大と情報提供の充実
- ・市民事業や NPO への支援を強化しインフォーマルサービス（家事支援や子育て支援など）を充実
- ・障がいのある人たちが、自立して暮らせる住まいの確保
- ・障がい・高齢・子どもなど分野横断的に 24 時間 365 日対応する中核地域生活支援センターを整備
- ・買い物難民対策としての移動販売事業者の支援

千葉市内で緩和・終末期ケアを行っている医療機関数

緩和ケア病棟を持つ病院		2 か所
終末期ケアを行っている医療機関数	病 院	12 か所
	診療所	57 か所

◆ 居場所づくり

- ・子ども・若者・高齢者などが、自由に集える場所を、空いた公共施設や店舗などを活用してつくる

◆ 貧困の連鎖を断つための対策

- ・高校入学後も学業を続けられるような学習支援と生活支援の強化・充実

◆ ニート・引きこもり対策

- ・ニート・引きこもりを抱える家庭への支援強化
- ・就労困難な若者が有償ボランティアなどの中間的就労で社会参加する機会を作り、社会から孤立しないよう支援



このまちで安心して暮らし続ける

4. 子育て子育て

子どもにまつわる悲しい事件を耳にするたびに、周りで何かできることはなかったのかと心が痛みます。子どもに対する支援はもちろん、親に対する支援も充実させ、親子が幸せに暮らせる千葉市をつくります。

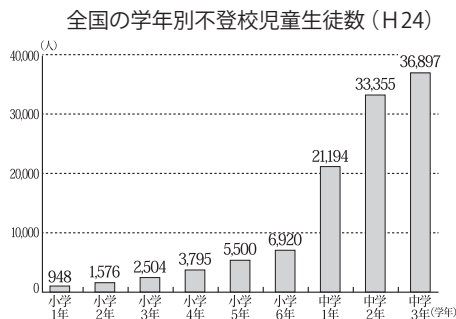
◆ 子育て支援

- ・ 公的機関や専門家、同世代との妊娠期からのつながり作りで、産前産後のサポート強化
- ・ 子育てコンシェルジュの活用で多様な子育て情報の提供
- ・ 認可外保育施設における保育の質を確保
- ・ 病児・病後児保育の拡充と緊急時の保育の仕組みづくり
- ・ どんな子どもも受け入れられる居場所づくりを、地域の人とともに



◆ 学校教育

- ・ スクールソーシャルワーカーを増員し、課題のある家庭の子どもを支援
- ・ 不登校の子どものサポート体制の強化
- ・ 教職員の労働環境を改善し、教育の質を高める
- ・ 中高生から始める労働教育の充実
- ・ 選挙の大切さを学ぶ子どものための政治教育の充実
- ・ 障がいのある子もない子ども共に学べる教育環境づくり



出典：文部科学省 平成24年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」

◆ 社会的養護

- ・ 児童相談所の体制強化と里親制度の充実



◆ 子どもの放射能対策

- ・ 原発事故による環境や食品への放射能汚染の影響を監視
- ・ 子どもたちの健康のための甲状腺等の継続的な検査を

5. 環境



今までにない異常気象が各地に大きな被害をもたらしています。地球温暖化防止のためには原発再稼働ではなく、今こそ、知恵を出し合い、再生可能エネルギーの推進を図らなければなりません。かけがえのない自然環境の破壊をくい止め、子どもたちに負の遺産を残さない循環型都市千葉市をつくります。

◆ 脱原発社会をつくる

- ・ 原発の再稼働に反対し、地域でのエネルギーの地産地消をすすめる
- ・ 放射能汚染の監視を継続

◆ 再生可能エネルギーの拡大を

- ・ 再生可能エネルギー利用への補助制度の充実を図る
- ・ 学校や公共施設を活用して太陽光発電をさらにすすめる
- ・ 省エネの目標値を設定し、公共施設などの省エネ化をすすめる

◆ ごみの削減をすすめる

- ・ 可燃ごみの4割を占める生ごみの資源化を図り、地域での循環をつくる
- ・ ペットボトル以外の「その他プラスチック容器包装」の資源化

◆ 緑あふれるまちづくり

- ・ 特別緑地保全地区を計画的に拡大する
- ・ 生物多様性戦略^(注)づくりを市民参加ですすめる
- ・ 生垣への補助制度、街路樹や植栽マスの里親制度を導入



(注) 生物多様性戦略：多様な生物が生存できるような環境を保全し、持続可能な利用を確保するための自治体の計画

◆ 都市農業の活性化

- ・ 農薬や化学肥料の使用を抑えた千葉ブランドの農産物をふやす
- ・ 就農後の販路確保等を含めた新規就農者への支援の充実を図る

◆ 食の安全

- ・ 市民が不安に感じて持ち込む食品の検査体制を確立
- ・ 食のグローバル化が進む中、学校給食における、食品添加物、遺伝子組み換え食品の使用は極力控える

6. 市民力



市民と市長との対話や市政への市民参加は進みましたが、市民と行政の対等なパートナーシップの構築はまだまだです。また、議会への市民の参加は遅れています。議会本来の役割を果たし、市民に役立つ議会を目指します。

◆ 市民が活動しやすいまち

- ・市民活動への予算配分の確保と使いやすい補助金制度を
- ・公共施設や空き家を活用した市民団体共同の活動拠点づくり

◆ 市民の学びを支える

- ・公民館図書室を、地区図書館の分館に位置付け充実を図る
- ・公民館への有資格者配置や公民館運営審議会の充実
- ・暮らしすべてが政治にかかわることを学ぶ場の確保

◆ 様々な立場の人の社会参加を保障する

- ・男女共同参画センターの機能を強化し、あらゆる分野に女性の視点を
- ・相談窓口の整備や市民への啓発などで性的少数者への理解を深める
- ・外国人がまちづくりに参加する多文化共生のまちへ

◆ 議会も変える。議会への市民参加

- ・徹底した議会の情報公開と、議会による議会報告会の実施
- ・市民と議員で政策を検討する場を作る

◆ 財政再建も市民とともに

- ・市民意見を求めながら、継続的な事業の棚卸
- ・わかりやすい予算書の作成と、予算編成に市民意見が反映できるよう工夫
- ・「減らす」から「活かす」へ。これまでの事業の見直しの効果を検証

市民ネットワークちば

千葉市中央区中央 4-10-11 tel & fax 043-201-2551

各区の事務所

花見川ネット tel : 043-201-2551 みはまネット tel : 043-278-5005
いなげネット tel : 043-201-2551 中央ネット tel : 043-201-2551
わかばネット tel : 043-284-2339